

プレスリリース
報道関係者各位

**東京の金融サービス業界による社会貢献活動 第6回FITチャリティ・ラン、
参加企業数、参加者数および募金総額が過去最高を記録
～ 地域社会への貢献を目的に約6800万円の資金を集める ～**



(写真撮影：村越将浩)

東京 2010年11月7日 —FIT(「フィット」と読みます。)チャリティ・ラン2010実行委員会(共同実行委員長:ガイ・マッシュューズ/シティ、堀久美子/UBSグループ)は、東京の金融サービス企業が結集して地域に根差した活動をしている非営利団体を支援することを目的に、「FITチャリティ・ラン2010」を国立霞ヶ丘競技場および神宮外苑周回コースにおいて開催しました。101社からランナー、ウォーカー、ボランティア総勢6716人参加し、参加団体数と参加者人数ともに過去最高を更新しました。

同イベントの趣旨に賛同した金融サービス企業から寄せられた協賛金、イベントTシャツやチャリティくじなどの収益金、参加費、参加企業および参加者から寄せられた寄付金の総額は、過去最高の 67,997,793 円に上りました。これにより、過去 6 回の FIT チャリティ・ランの募金総額は、3 億円を超えました。寄付金は、次の 10 非営利団体に寄付されます。

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| ■ 自殺対策支援センター ライフリンク | ■ 青少年国際教育促進協会(リビング・ドリームズ) |
| ■ たすけあいゆい 睦母子生活支援施設 | ■ 多文化共生センター東京 |
| ■ 難民支援協会 | ■ ぱれっと |
| ■ ハンズオン東京 | ■ ブリッジフォースマイル |
| ■ ホスピタルアート・ラボ | ■ 明晴学園 (五十音順) |



FITチャリティ・ラン2010共同実行委員長を務めるガイ・マッシュューズは、次のようにコメントしました。

「FITチャリティ・ランは、2005年以来、多様な地域社会活動のために総額3億円の資金を集め、寄付金を贈呈することにより地域社会に貢献してまいりました。今年のイベントは、参加企業数、参加者数と募金総額において過去最高を更新し、盛大に開催されました。これらは、金融サービス業界の結束が、地域社会に根差した活動をしている非営利団体の大きな支援につながっているという証です。」

FITチャリティ・ラン2010共同実行委員長を務める堀久美子は、「地域社会の課題に取り組む非営利団体の重要性が年々高まる中、FITチャリティ・ランの業界一丸となって支援するファンドレイジング(募金)の意義も高まってきました。FITチャリティ・ランは、多くの物的協賛企業様のご協力も得て、すべて金融サービス業界で働く社員たちのボランティアによって企画・運営しているため、全収益に対する寄付金割合が90%を超えています。こうした効率的な取り組みもFITチャリティ・ランの特徴といえます」と、述べました。

FITチャリティ・ラン2010実行委員会

i-cube、アレン・アンド・オーヴェリー、Eat creative、HSBCグループ、MGPA、クレディ・スイス、KPMG あずさ監査法人、ゴールドマン・サックス、J.P. モルガン、シティ(共同実行委員長)、湘南医療福祉専門学校、ディ・エフ・エフ、ドイツ銀行グループ、トーマツグループ、トムソン・ロイター・マーケティング株式会社、日興アセットマネジメント株式会社、パークレイズ・キャピタル証券、バリアフリーカンパニー、バンクオブアメリカ・メリルリンチ、BNYメロン・アセット・マネジメント、ビクターエンタテインメント株式会社、プライスウォーターハウスクーパース ジャパン、ブラックロック、ブルームバーグL.P.、フレッシュフィールドズブルックハウスデリンガー、マッコーリーグループ、みずほ証券、株式会社みずほフィナンシャルグループ、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJメリルリンチPB証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、ミュージックセキュリティーズ、UBSグループ(共同実行委員長)、ロイヤルバンク・オブ・スコットランド ピーエルシー(五十音順)

この件に関するお問い合わせ先:

Communications@fitforcharity.org

#

FITチャリティ・ランについて

2005年、東京の金融サービス企業が集結して日本の非営利団体を支援する目的で設立されました。FITチャリティ・ランの支援先団体は、地域社会に密着した意義ある活動を行っていながらも、認知度が低い等の理由により、十分な活動資金の確保が困難な団体を中心としています。 www.fitforcharity.org

<添付資料>

大会概要

大会名称： FIT チャリティ・ラン2010
 開催日： 2010 年11 月 7 日（日）
 コース： 国立霞ヶ丘競技場および明治神宮外苑周辺道路周回コース（東京都新宿区）

結果：

10キロ・ラン男子1位	タハラ・ヨシオ（ゴールドマン・サックス）	35分16秒
10キロ・ラン女子1位	ナタリー・ダーボン（クレディ・アグリコル・グループ）	41分56秒
5キロ・ラン男子1位	ミズコシ・トモヒロ（ゴールドマン・サックス）	17分41秒
5キロ・ラン女子1位	マツオ・ハルコ（HSBCグループ）	20分43秒
400メートルリレー1位	KPMGジャパン	47秒42
ベストコスチューム賞：	タカハシ・タクヤ（三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社）	
最も多くの寄付金を集めた団体： UBSグループ		

主催： FITチャリティ・ラン2010実行委員会
 後援： 朝日新聞社、日本経済新聞社
 特別支援： 財団法人日本サイクリング協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター国立競技場
 協賛： 【企業スポンサー（寄付金50万円以上）】

ICAP東短証券株式会社、アイピーシー・インフォメーション・システムズ・ジャパン株式会社、アクサ生命保険株式会社、アライアンス・バーンスタイン、アレン・アンド・オーヴェリー、Eat creative、いちごアセットマネジメント株式会社、インベスコ投信投資顧問株式会社、HSBCグループ、MGPA、オーストラリア ニュージーランド 銀行、クレディ・アグリコル・グループ、クレディ・スイス、KPMGジャパン、ゴールドマン・サックス、J. P. モルガン、シティ、シュローダー証券投信投資顧問株式会社、株式会社 証券保管振替機構、スタンダード&プアーズ、ソシエテ ジェネラル グループ、ドイツ銀行グループ、トーマツ グループ、トムソン・ロイター・マーケットズ株式会社、日興アセットマネジメント株式会社、本相互証券株式会社、バークレイズ・グループ、ハートフォード生命保険株式会社、バンクオブアメリカ・メリルリンチ、バンクオブニューヨークメロン証券株式会社、BNPパリバ証券会社、プライスウォーターハウスクーパースジャパン、ブラックロック・ジャパン株式会社、ブルームバーグ L.P.、フレッシュフィールズブルックハウスデリンガー、マッコーリーグループ、マン・インベストメンツ証券株式会社、みずほ証券株式会社、三菱UFJ メリルリンチPB証券株式会社、三菱UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、モルガン・スタンレーMUFG 証券株式会社、UBSグループ、ロイヤルバンク・オブ・スコットランド、ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社

【企業サポーター（寄付金35万円以上）】
 アビーム コンサルティング株式会社、BGC証券会社



協力(物的協賛)： i-cube、アサヒフードアンドヘルスケア株式会社、伊藤忠商事株式会社、ヴィクトリア・カゾーリ (写真家)、ウェスティンホテル東京、ウォールストリートジャーナル アジア、ウォールストリートジャーナル ジャパン、エア タヒチ ヌイ、ANAインターコンチネンタル石垣リゾート、ANAインターコンチネンタル東京、ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート、大塚ホールディングス株式会社、オル・イン/Ma-do、花王株式会社、グッドモーニング東京、グランド ハイアット 東京、クリクラ、コットンクラブ、コンチネンタル航空、コンラッド東京、ザ・エコノミスト・グループ・アジア・パシフィック・リミテッド、ザ・キャピトルホテル東急、ザ・ペニンシュラ・東京、ザ・リッツ・カールトン東京、サッポロ飲料株式会社、サッポロファインフーズ株式会社、株式会社JTBモチベーションズ、シェラトン・グランデ・トーキョーベイ、シスコシステムズ合同会社、シャングリラ ホテル 東京、湘南医療福祉専門学校、ストリングスホテル東京インターコンチネンタル、成人の日コンサート、セルリアンタワー東急ホテル、セントレジスホテル大阪、帝国ホテル、ディプロマット、株式会社ナイキジャパン、日本通運株式会社、パーク・ハイアット・東京、ハイアット リージェンシー 京都、株式会社バリアフリーカンパニー、ピエトロ・ズコ (写真家)、フォーシーズンズ ボラボラ、フォーシーズンズホテル丸の内、ブルーノート東京、ホテル インターコンチネンタル 東京ベイ、ホテルニューオータニ、マンダリン オリエンタル 東京、村越将浩 (写真家)、モーション・ブルー・ヨコハマ、焼肉安楽亭、ユナイテッド航空、株式会社ユニフルーティジャパン、株式会社ヨックモック、リトルアーティスト、ローソン グループ (株式会社ローソン・エイティエム・ネットワークス、株式会社九九プラス、株式会社ローソン)

FIT チャリティ・ラン2010 の支援先団体一覧 (五十音順)

- 自殺対策支援センター ライフリンク：年間自殺者が3 万人を超え続ける社会状況に一石を投じようと、2004 年に発足。モットーは、「新しいつながりが、新しい解決力を生む」。自殺対策を「生きる支援」と捉えて、誰も自殺に追い込まれることのない「生き心地の良い社会」の実現をめざして精力的に活動しています。www.lifelink.or.jp
- 青少年国際教育促進協会 (リビング・ドリームズ)：東京地区の児童養護施設に暮らす子供達が責任ある、自信を持った、力強い青少年に育つよう支援するため、L.A.S.T. (Learning, Arts, Sports, Technology) の概念に則したプログラムを、各施設の職員の皆様と密接に協調しながら提供しています。<http://livingdreams.jp/jpn>
- たすけあいゆい 睦母子生活支援施設：経済的困難を抱えた母子に住居を提供すると共に、自立して生活できるように様々な支援をしています。入所世帯の半数以上がDV や虐待を理由に入所しています。貧困と虐待の連鎖を断ち切るため、様々なプログラムを提供し続けたいと考えています。<http://www.yui-yui.net>

- 多文化共生センター東京：多文化共生センター東京主催の「たぶんかフリースクール」は日本に定住する子供たちを中心に、来日後学校に行きたくても入れる学校のない学齢超過の子ども達を高校に繋げるための日本語及び教科を毎日サポートしています。また、土曜日は地域の親子を対象に日本語教室も行っています。<http://www.tabunka.jp/tokyo>
- 難民支援協会：日本に逃れてきた難民に対して、難民申請の手続き等法的支援や病院への同行・住居探し等生活支援などから、政策提言、啓発活動まで総合的な活動を行っています。これまで、日本政府への難民申請の約1/3 に相当する約2500 人に対して支援しています。<http://www.refugee.or.jp>
- ぱれっと：就労・暮らし・余暇などの生活場面において障害のある人たちが直面する問題解決を通して、全ての人達が当たり前で暮らせる社会の実現に向けて寄与するNPO です。1983 年設立。渋谷区恵比寿を拠点に、様々な人との出会いと交流から、新しい可能性を生み出すことに挑戦し続けています。
<http://www.npo-palette.or.jp>
- ハンズオン東京：ハンズオン東京は、様々な国籍の個人、企業およびパートナー団体と協力しながら、教育、環境などの側面から地域のニーズを探り、それを満たすための多様なボランティア活動を企画することで、地域に貢献するボランティア活動の浸透を目指すNPO 法人です。
<http://www.handsontokyo.org/jp/home>
- ブリッジフォースマイル：関東エリアの児童養護施設の中高生、および退所者に自立支援を行っています。退所を控えた高校生に一人暮らしの準備を支援するプログラムや、退所者のメンタルケア、住宅支援などを通して退所前後の子どもたちをサポートしています。<http://www.b4s.jp/index.html>
- ホスピタルアート・ラボ：人間の生老病死に関わる病院を、アートで前向きな温かい環境に改善し、病院生活の質の向上と全人的治療の一助を目指し、毎年全国40 カ所以上の病院を訪れ、活動しています。
<http://wap.petit.cc/>
- 明晴学園：明晴学園は日本初の、そして唯一の、全教科を手話で学ぶことのできる、ろう学校です。日本のろう学校はこれまで手話を禁止してきました。明晴学園は日本手話を使ったろう教育を行うため、フリースクール「龍の子学園」の約10 年間の活動を引き継いで、2008 年に設立されました。
<http://www.meiseigakuen.ed.jp>